

口の町外流出の抑制につなげていきます。

なお、豊頃南町に造成した分譲地は、平成26年度で全て完売しておりますので、新たな分譲地の造成について検討していき

### 公共交通の充実

町有バスおよびコミュニティバスの運行については、運行後6年を経過し、町民の足として定着してきたところですが、今後も利用者の要望に対応しながら、高齢者等の交通弱者の方々に対する町外病院等への交通確保も含め、運行車両を総合的に運用することを検討するなど住民にとって不便のない地域公共交通を確保してまいります。

### 廃棄物の処理と環境保全対策

一般廃棄物処理については、その基本計画に基づき十勝環境複合事務組合に加盟し、中間処理および最終処分を行っているところですが、今後も廃棄物の適正処理を進めるとともに、ごみの減量化とリサイクルを主とした循環型社会の構築を推進してまいります。

また、昨年度から資源ごみの搬出促進を目的に開始した「資源ごみ集団回収活動助成事業」

を積極的に奨励し、リサイクル意識の啓蒙と再資源化の拡大を図ってまいります。

### 葬斎場の整備

平成27年度に実施設計を終えた新葬斎場建設事業は、本年度本体内工事に着手、年度内供用開始を見込み、清潔で安らぎのある人生の終焉の場にふさわしい施設として整備してまいります。

### 消費者被害対策

多発している様々な消費者被害を未然に防止するため、広報紙や出前講座等による情報提供や啓発に努めるとともに、相談体制の充実を図ってまいります。

### 交通安全対策

交通安全対策については、交通安全事故のない、安全で快適な社会の実現は、私たちの願いです。

本町においても、各関係機関と連携しながら様々な交通安全運動を展開してきたところで、本年度は5年ごとに策定される交通安全基本計画の策定初年度となっております。今後も新基本計画に基づき、粘り強く交通安全対策の取組みを進めてまいります。

豊かな資源を生かしたまちづくり

### 農業振興

農業振興ですが、畑作においては、十勝川最下流にあつて厳しい土地・気象条件にある本町では、湿害に強い農業の確立が重要であります。このため、地区割により計画的に継続実施する道営土地改良事業や農協と連携する緊急農地基盤整備事業などの単独事業を実施することにより、明暗排水施設などの農地基盤整備に努めてまいります。また、多面的機能支払交付金事業を継続し、農村環境、水源涵養や自然環境の保全に資する地域の共同活動を支援してまいります。

畜産については、畜産基盤の整備を図るために公社営事業である畜産担い手育成総合整備事業並びに中山間地域等直接支払事業を継続するとともに、資材高騰対策としての家畜飼養用水緊急支援対策事業や良質な自給飼料の確保を図るための酪農畜産産基盤強化事業に取り組み、畜産経営の維持・安定に努めます。

また、堆肥利用高度化緊急支援対策事業や簡易堆肥盤整備事

業を実施し、耕畜連携を推進してまいります。

### 林業の振興

林業の振興については、多面的機能を有する森林が、本町の農・漁業において重要な役割を担っており、その持続性が強く求められています。

そのため積極的な造林を未来につなぐ森づくり推進事業や産業振興事業により民有林の造林を奨励してまいります。

また、町有林においても造林や保育事業などを計画的に実施するとともに、これら事業展開における低コスト化を図るため、林道開設事業を積極的に実施してまいります。

さらに、地球温暖化の防止や生物多様性の保全など環境に調和した持続可能な森林管理の実現のため、森林資源の循環利用を図る森林認証の取得により、環境に配慮した地域全体の森林資源の保全とともに、地域材のブランド化・価値の向上を図り、管内市町村および森林組合と連携し、森林経営の安定に努めてまいります。

エゾシカなどによる農林業被害対策については、本年度も猟友会豊頃部会の協力により、有害鳥獣駆除およびエゾシカの一

斉駆除を積極的に展開し、被害の抑制に努めます。

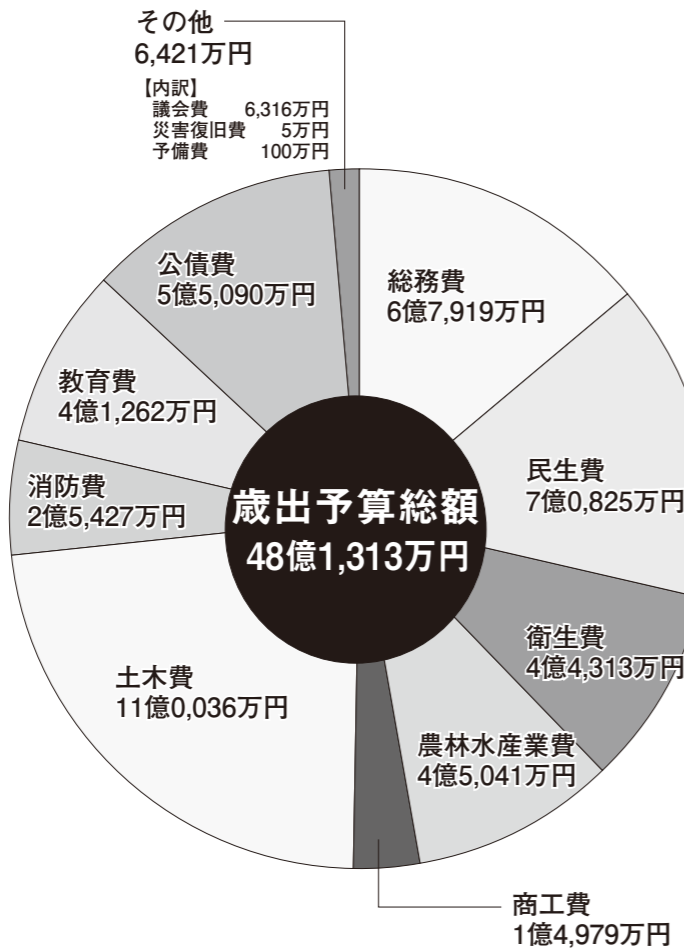
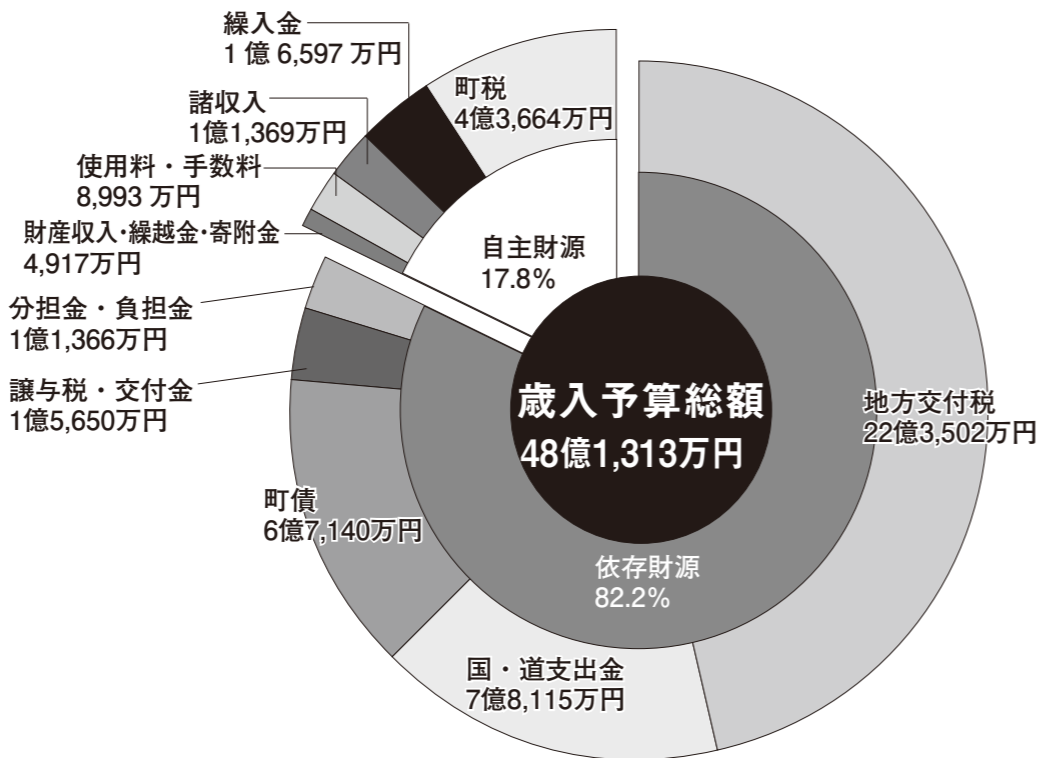
### 水産業の振興

漁業の振興については、現在、大津漁港は長期整備計画により防災・減災機能を有する船揚場の嵩上げとともに、新たな上架施設整備が進められています。これら施設の早期完成・供用開始に向け、漁協等関係団体と連携し要望活動に取り組んでまいります。

昨年、気象被害を受けました主要漁業であるサケ定置漁業において、本年の漁業生産に支障を及ぼさないよう漁協が実施する単独融資に対し利子補給をするほか、漁業経営近代化促進事業について、本年度に事業が完了するよう取り進めてまいります。また、資源増大に向けたサケ増殖事業や近年資源が漸増傾向にあるマツカワの種苗中間育成事業に対し積極的に支援するなど、沿岸漁業資源の維持増大を図り、持続的な漁業の振興に努めてまいります。



## 一般会計当初予算概要



歳出前年度比較(万円)

款	前年比
議会費	△346
総務費	4,800
民生費	△13,018
衛生費	18,780
農林水産業費	1,844
商工費	3,842
土木費	18,539
消防費	△196
教育費	1,690
災害復旧費	0
公債費	1,772
予備費	0
計	37,707

### 用語の解説

- ◆地方交付税 町が標準的な行政を運営するのに必要な財源を国が保障するため、一定の基準で交付
- ◆国・道支出金 国や道の基準に従って行った事業に対して受ける国や道からの補助金
- ◆町債 町が大きな建設事業などを行う際に、長期間にわたって利用することができ、多額の費用が必要な時に借り入れる長期的な借入金
- ◆繰入金 基金や積立金を取り崩して財源に充てるお金
- ◆諸収入 預金利子や国、道の受託事業収入、給食費等
- ◆公債費 借入金の元金、利子の支払いに要する経費
- ◆総務費 一般的な管理事務、税務、戸籍、財産の維持管理等の経費
- ◆民生費 高齢者や障害者に対する社会福祉、保育所の運営管理などの児童福祉等、安定した社会生活に必要な経費
- ◆衛生費 ごみ、し尿処理、保健指導等、健康で衛生的な生活環境を保持するための経費
- ◆農林水産業費 農業、林業、水産業振興のための経費
- ◆商工費 商工業・観光振興のための経費
- ◆土木費 道路、住宅、各施設の新設および維持に要する経費
- ◆消防費 東十勝消防事務組合負担金や災害対策のための経費
- ◆教育費 小・中学校、給食センター、総合体育館、える夢館の管理運営等、教育・文化に係る経費